

平成30年度に出された放射線量等に対する町民の意見について

町民委員会 「双葉町復興まちづくり計画（第二次）」を策定するとともに実施計画を策定し、その具現化に向けた取組に対し意見等を求めるため、双葉町復興町民委員会を設置している。
 町政懇談会 平成30年度は3回開催。委員の構成は設置要綱により町民及び復興施策について識見を有する者の中から町長が委嘱。
 住民意向調査 平成30年10月11日から11月17日の期間で、福島県内外11会場で開催。
 平成30年10月29日から11月14日にかけて双葉町・福島県及び復興庁との共同で実施。

NO	分類	町民の意見(発言内容のまま)	備考
1	避難指示解除の要件	国による「年間積算線量が20mSv以下になること」とあるが、以前は年間積算線量の上限を1mSv以下だったものがいつのまにか20mSvまで引き上げられてしまった。	町民委員会
2		もともと国際的な被ばく量の限度基準は年間1mSvであったが、日本は原子力事故発生後に年間20mSvに引き上げた。日本は基準を緩めるのが早すぎるのではないか。	町民委員会
3		年間積算線量20mSvでの解除はありえない。帰還の目標は、年間積算線量1mSv以下とすべきではないのか。	町政懇談会
4		年間積算線量20mSvでの解除は法律になっていないのに、年間積算線量20mSvで解除するのは疑問である。	町政懇談会
5		町として、空間線量がどのくらいまで下がればいいと思っているのか。	町政懇談会
6		避難指示解除の要件で、年間積算線量20mSv以下となっているが、町として、どのくらいの線量で解除するのか。	町政懇談会
7		現実的には国や国際的な基準をクリアするのは難しい。どの数値なら町に入ってもいい、というのは町民自身が決めるべきと考える。	町民委員会
8		妊産婦や赤ちゃんの居る家族は年間積算線量5mSv/年以下でないと、不安があり、居住は避けると思われる。	住民意向調査
9	健康被害	年間1mSv以下であれば、発がん可能性が高まるとされる100mSvに達するまで100年かかるが、年間の被ばく量が20mSvとなると5年で100mSvに達してしまう。これについて町はどう考えているのか。	町民委員会
10		原子力安全委員会が安全を保障できるのか。何をもちて安全な基準というのか。	町民委員会
11	除染	除染を実施した地域ではどの程度低減したのか。	町政懇談会
12		家の裏等の線量がとても高い場所があるが、このような高線量地点が残るととても不安である。	町政懇談会
13		一方で、前田川周辺など除染が進んでいない場所、特に土手など草が茂っている場所等ではまだ線量が非常に高い。	町民委員会
14		山林においても20m区域内といった制限を設けるのではなく、広い範囲で除染してもらいたい。	町民委員会

NO	分類	町民の意見(発言内容のまま)	備考
15		除染されない山林がすぐ近くにあるという住民の不安をしっかりと考えてもらいたい。	町民委員会
16		今ある建物を修繕して使用するのではなく、全て解体し土壌もはぎとり、一から立て直してほしい。やるなら徹底的にやってほしい。修繕して使用する建物では、除染をしても汚染が付着していると思うと利用したくない。	住民意向調査
17		復興を進めていくためには一番大事は除染ではないでしょうか。	住民意向調査
18		除染やインフラ等をしっかりとやることだと想います。	住民意向調査
19	除染	復興、復旧を急がず、確実な除染作業をお願いしたい。現状の双葉町を見る限り、何年後に戻るとか、そんなレベルではない気がする。	住民意向調査
20		除染をすすめて安全にいつでも帰られるようにしてほしい。	住民意向調査
21		町づくりも、あわてることなく除染をしっかりとやってから、安心して住めるようにして下さい。放射能の測定なども、細部にわたってやって欲しいです。単純な数字の発表だけでなく。	住民意向調査
22		町の中を早く除染してもらわないと、双葉町にある実家に戻れない。もう高齢なので、少しの時間・日程があればそこの我が家で休みたい。	住民意向調査
23		一層の低線量化と風評被害の払拭が町復興の重要課題と思います。	住民意向調査
24	持出基準	震災前、原子力発電所構内で使用していた車は100cpm以上のものは汚染車とされ、除染しなければ構外に出せないことになっていたが、現在は国が基準を変えて13,000cpm以下であればそのまま構外に出られるようになってしまった。構内の1,000cpmのところ作業をする時、作業員は二重の防護服とゴム手袋、全面マスクの着用を義務付けられているが、13,000cpmの車が構外にでて町の工場や車両整備に出したら、工場の作業員は何の防御もなく直接車を触って作業することになる。このままでは双葉町を汚染された車が走り回るようになってしまう。町からも規制の厳格化を要望してもらいたい。	町民委員会
25	立入規制緩和	立入規制の緩和を行うための線量の基準は年間積算線量20mSvを用いるのか、十分な説明と協議を町民としてほしい。	町政懇談会
26		早くバリケードの撤去を要望する。	住民意向調査
27	放射線量への不安	放射線にかかわる不安を可能な限り少なくすることが大事だと考えます。	住民意向調査
28		戻りたいとは思っていますが、確実な帰還年数が出ないため悩みます。目に見えない放射線に対しても不安があります。	住民意向調査
29	情報提供	上空から測定して作成された文部科学省の放射線分布マップは非常に精度が高い。正確な情報があれば各人が帰町等の判断材料に使えるので、少なくとも年に1度は調査して情報を更新してもらいたい。	町民委員会